

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人かたの福社会



## I 概況

国は、昨年まで猛威を振るっていた新型コロナウイルスが2類から5類に移行し、感染者数も一定数減少傾向ではありましたが、福祉施設においては今なお感染者が発生していることを受け、事業運営に対しても運営費の一部助成等柔軟な措置を講じました。

また、令和3年4月に施行された重層的支援体制整備事業の開始に伴い、地域住民が抱える、8050問題やヤングケアラー、育児介護の両立等、問題が複雑化・複合化し、既存の制度では対応できない事案が増加している状況です。

これらの諸問題に対応すべく、複雑・複合的な課題を抱えた世帯を行政福祉部や社会福祉協議会及び介護、障がい、子ども・子育て及び生活困窮分野の事業所が多職種連携によるチーム支援により、生活困窮者等が地域社会に参加する機会を確保するための支援や地域生活課題の発生と防止又は解決にかかる仕組み等、総合的に支援を行うための必要な措置が講じられました。

交野市では、交野市第6期障がい福祉計画が最終年度となり、地域生活拠点機能を有する事業所の機能の拡充、地域生活支援拠点の重点整備、相談支援等を通し利用者一人一人のライフステージに応じた切れ目のない支援が行えるよう支援体制の構築を図るとされていきました。法人の各事業所においてもライフステージに応じた切れ目のない支援が行えるよう、地域福祉の確立に向けた、重層的支援体制事業の立上げを行い、交野市、交野市社会福祉協議会と協議を重ね、令和6年度より交野市重層的支援体制事業の参加支援事業を委託事業として参画することになりました。

次に、法人として新型コロナが2類から5類に移行した後もウイルスの影響を受け、令和6年3月には感染拡大し自主休業を余儀なく行った状況や、利用者の転籍や通所の休止等の影響から収益が低下しましたが、新たな利用者確保や施設稼働率が上昇したため、低下率は一定抑制することができました。しかしながら、最低賃金の引上げによる人件費及び社会保険料の増加により、法人の全体収支に影響を与えました。令和6年度報酬改定により、収入増を見込んであることから、今後も収益改善に向けて取り組んで参ります。また、社会問題である生活困窮者や一人親世帯に向けた支援事業のとしてフードバンク事業を設立し、先述にもあるように、交野市重層的支援体制事業の参加支援事業の委託を受ける等、地域福祉、重層的支援利用者への支援体制の骨格を構築することができました。

さらに利用者の高齢化と重度化に伴う医療的ケアが必要な利用者の受入ができるよう整備を進める上で、民間事業者の補助金を受託できたことから、必要な施設改修の目処が立ち、本格的に医療的ケアが必要な利用者を受入れるようになり、令和6年の事業運営拡大へむけた基礎となる取り組みを実施することができたことから、引き続き、利用者利用者家族にとって盤石な法人体制の構築に邁進して参ります。

## 会議の状況

(1) 理事会開催状況	令和5年6月2日	令和4年度 事業報告 令和4年度 決算報告 令和4年度 監査報告 理事の推薦について 評議員会の開催について
	令和5年6月16日	理事長、副理事長、専務理事の選任について 評議員選任・解任委員の選任について
	令和5年11月28日	令和5年度補正予算（案）について 新規事業の開設について 職員給与規則の一部変更について 理事の推薦について 評議員会の開催について
	令和6年3月14日	長期運転資金の借入について 令和6年度 事業計画について 令和6年度 会計予算について てらサポートトイレ改修工事入札について 就業規則の一部変更について 給与規則の一部変更について 経理規程の一部変更について 職員人事について 評議員会の開催について
(2) 評議員会開催状況	令和5年6月16日	令和4年度 事業報告 令和4年度 決算報告 令和4年度 監査報告 役員を選任について 議事録署名人の選任について
	令和5年11月28日	令和5年度補正予算（案）について 新規事業の開設について 職員給与規則の一部変更について 理事の選任について 議事録署名人の選任について
	令和6年3月29日	長期運転資金の借入について 令和6年度 事業計画について 令和6年度 会計予算について てらサポートトイレ改修工事入札について 就業規則の一部変更について 給与規則の一部変更について 経理規程の一部変更について 議事録署名人の選任について

(3) 監査 (中間)  (年度末)	令和5年11月22日	令和5年度 法人本部、施設及び事業全般 監査実施
	令和6年5月24日	令和5年度 法人本部、施設及び事業全般 監査実施
(4) 評議員選任・ 解任委員会	令和5年5月9日	評議員 森田 晴夫 (計1名) 評議員の選任
	令和5年7月27日	評議員 畑山 泰雄 (計1名) 評議員の選任

## 令和5年度 社会福祉法人かたの福祉会事業報告

### II 基本方針

社会福祉法人かたの福祉会令和5年度事業計画に則り、利用者の人権を尊重し、自己選択、自己決定を支えることに主眼を置き、多様なサービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるように創意工夫し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会で営むことが出来るように支援を行い、人材育成と組織能力の向上により質の高いサービスの提供と透明性を確保し信頼性を高め利用者の安全を守り、安心して生活ができることを基本方針として次の事業を行いました。

### 令和5年度 社会福祉法人かたの福祉会の事業運営

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1.就労継続支援B型事業           | (ワークハウスやわらぎ)       |
| 2.生活介護事業               | (くらじワークセンター)       |
| 3.生活介護事業               | (てらサポート)           |
| 4.短期入所事業               | (てらサポートセンター)       |
| 5.居宅介護事業・移動支援事業・同行援護事業 | (てらサポートセンター)       |
| 6.老人居宅介護事業             | (てらサポートセンター)       |
| 7.日中一時支援事業             | (てらサポートセンター)       |
| 8.共同生活援助事業             | (グループホームミリオールネ藤が尾) |
| 9.共同生活援助事業             | (グループホームミリオールネ星田)  |
| 10.共同生活援助事業            | (グループホームミリオールネ星田北) |
| 11.共同生活援助事業            | (グループホームミリオールネ星ヶ丘) |
| 12.障害者相談支援事業           | (てらサポ)             |
| 13.移動支援従事者養成研修事業       | (てらサポートセンター)       |







### 3. 生活介護事業「てらサポート」の運営

#### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称                    てらサポート
- ② 所在地                交野市寺四丁目 590 番地の 1
- ③ 定員                    20 名
- ④ 職員数                11名
- ⑤ サービス提供時間    午前 9 時から午後 3 時 30 分
- ⑥ 営業時間              午前 8 時 45 分から午後 5 時 15 分
- ⑦ 営業日                月曜日から金曜日(祝日、8 月 13 日～16 日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く)

#### (2) 利用状況

(人)

区分	合計
男性	13
女性	11
合計	24

#### (3) 今年度実施内容

利用状況について、交野支援学校より新規利用者を迎える事ができましたが、年度の途中で家族の介護負担増加により入所施設への転籍希望者が1名、その後、日常生活機能の低下が見られる、やわらぎの利用者1名が併用利用開始となりました。

事業所内での取り組みの充実を図る為に、作業療法士を中心に「匂い」「光」「音」などの感覚を刺激とした感覚統合療法である「スヌーズレン活動」にも取り組む事ができました。些細な環境の変化や音などにより情緒に影響を及ぼす方が利用されているなか、スヌーズレン活動を行う事により、情緒の乱れが見られる利用者が落ち着きを取り戻し、穏やかな表情で過ごせるなど一定の結果を残す事ができました。

年2回全家庭を訪問し実施し、個別支援計画の面談の際には、経過報告と共に、家族・事業所が一体となって継続した支援を行う事ができるかを、作業療法士・看護師といった専門職を交えて協議しました。その結果、今年度より新たな福祉サービスを受ける利用者が増加し、介護負担軽減など家族支援に対する結果を残す事ができました。

人材育成については、毎日の朝礼・終礼、週1回の定例会議、3ヶ月に1度の職員面談を通して、職員1人1人が「何のために支援を行うのか」を追求し、チームとして行動ができる人材育成を継続して行っております。その結果、根拠に基づいた支援を行うため実務者研修や初任者研修等、資格を取得する職員を輩出する事ができ、より知識を深め利用者支援の充実を図れる人材育成を行う事ができました。

また、専門職が行う事業所内研修を通してスキルアップを行うと共に、事業所内の清潔・不潔エリアの設備を設けるために協議を重ね、より充実した支援が行える体制作りを行う事ができました。しかしながら年度末に事業所内で感染症が蔓延し2日間の事業停止を余儀なくされました。社会的にも感染症に対する意識が低下している中、お預かりしている利用者、職員の安全を確保できるように努めて参ります。

#### 4. 短期入所事業(てらサポートセンター)

##### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称                    てらサポートセンター
- ② 所在地                交野市寺四丁目 590 番地の1
- ③ 定員                    6名
- ④ 職員数                13名
- ⑤ サービス提供時間    午後4時から翌日の午前9時30分
- ⑥ 営業時間              午前9時から午後5時15分    月曜日～金曜日の宿泊まで  
(祝日及び8月13日～16日と12月29日～1月3日の    年末年始は休業)
- ⑦ 実施地域              交野市の全域、枚方市の一部

##### (2) 利用状況

(人)

	交野市	枚方市	合計
男性	25	1	26
女性	17	0	17
合計	42	1	43

##### (3) 今年度実施内容

利用者家族共に高齢化が進む中で、サービス利用のニーズが高まっており、家族との協議を丁寧に行う事で今年度より新たに男性2名、女性3名の利用が始まりました。その中で利用が始まった利用者は、人工透析が必要な方や、寝たきりで全介助が必要な重度障がいのある利用者等、より重度の利用者を受け入れることができ、家族負担の軽減に努める事ができました。

また、グループホーム入所に向けた取り組みとして、連泊の利用者も増加しており、自立支援の重要な要素として事業を実施する事ができました。さらに、他事業所との連携を重ね、今まで短期入所が利用できる事すら知らなかった家族がいる事が判明し、利用者の年齢が低くても早くに親元を離れ、自立した生活を練習できる場として、より一層の支援を行って参ります。

## 5. 居宅介護事業・移動支援事業・同行援護事業（てらサポートセンター）

### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称                    てらサポートセンター
- ② 所在地                交野市星田六丁目 24 番 5 号
- ③ 職員数                4 名
- ④ サービス提供時間 居宅介護 7:00～21:00 移動支援 7:00～21:00
- ⑤ 営業時間            月曜日から水曜日、金曜日から土曜日の午前 9 時から午後 5 時（木曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業日）但し、緊急の場合は 24 時間、電話対応

### (2) 居宅介護及び同行援護契約利用者

(人)

	知的障がい者 (重複含)	障がい児	肢体不自由者 (介護含)	同行援護者	合計
男性	13	0	2	3	18
女性	3	0	1	3	7
合計	16	0	3	6	25

### 移動支援契約利用者

(人)

	知的障がい者 (重複含)	障がい児	肢体不自由者 (介護含)	合計
男性	26	0	3	29
女性	9	0	6	15
合計	35	0	9	44

### (3) 今年度実施内容

令和 5 年度は、移動支援年間合計 382 件(昨年 338 件)、居宅介護年間合計 166 件(昨年 149 件)、同行援護年間合計 42 件(昨年 50 件)の年間合計 590 件(昨年 537 件)の支援数となりました。令和 5 年 5 月より新型コロナ感染症の 5 類感染症の移行に伴い利用回数が増加しました。また、グループホームの利用者の方の通院支援が多くなり今後も増加傾向が予想されます。

ヘルパー研修については 5 月と 3 月に 2 回行い 5 月のヘルパー研修では「ヘルパー活動の経験から学んだ事」としてヘルパー活動実践を通じて大切なことを学んで頂き、利用者の情報交換会も含め確認を行いました。

3月の研修では 1 年間の振り返りを行い事例報告、ヒヤリハット事例などを行い支援の向上に努めました。また、活動記録表の記入の注意点や特別割引ICカードの利用の仕方などの確認を行いました。

新型コロナの 5 類感染症以降やインフルエンザ等の感染症についてもマスク着用 消毒等を行い感染防止の徹底を図り利用者 支援者が安心して活動できるように務めました。

## 6. 老人居宅介護事業(訪問介護・介護予防訪問介護)「てらサポートセンター」

### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称                    てらサポートセンター
- ② 所在地                交野市星田六丁目 24 番 5 号
- ③ 職員数                3 名
- ④ サービス提供時間    午前 7 時から午後 9 時まで
- ⑤ 営業時間              月曜日から水曜日、金曜日から土曜日の午前 9 時から午後 5 時  
(木曜日、日曜日、国民の祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日は休業日)  
但し、緊急の場合は 24 時間、電話対応

### (2) 今年度実施内容

令和 5 年度は既存利用者の入所施設移転により、利用者が減少したことから、今後、法人内の利用者家族の支援や、障がい福祉サービスから介護保険サービス移行時に当法人利用者が法人外の施設を利用するのではなく、在宅で訪問介護を受けながら、地域生活を送れるよう取り組んでまいります。

## 7. 日中一時支援事業「てらサポートセンター」

### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称                    てらサポートセンター
- ② 所在地                交野市寺四丁目 590 番地の 1
- ③ 定員                    6 名(緊急時 1 名含む)
- ④ 職員数                4 名
- ⑤ 利用日と利用時間    月曜日～金曜日 午後 3 時 30 分～午後 6 時 30 分  
(祝日及び 8 月 13 日～16 日と 12 月 29 日～1 月 3 日の年末年始は休業)

### (2) 事業実績

開所日数 238 日    延べ利用者数 334 名    平均利用率 1.4 名

### (3) 今年度実施内容

令和 5 年 3 月から段階的に事業再開を行い、現在は法人内の利用者が利用されています。感染対策を講じるためにも曜日ごとに担当事業所を決め事業を行う事で、各事業所の利用者が混在する事による蔓延防止策を行いながら安全に事業を行う事ができました。年度の途中からは、利用人数の増加も見られ、着実に成果を残す事ができています。また支援学校と連携をとる中で、事業所見学をされた家族から、日中一時支援に対してのニーズも強く、共働き世帯が増加している社会情勢を見ながら、家族支援の一環とした事業運営を行っています。

## 8. 共同生活援助事業

「グループホーム ミリオールネ藤が尾」

事業所の設置場所及び規模等

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| ① 名称  | グループホーム ミリオールネ藤が尾 |
| ② 所在地 | 交野市藤が尾            |
| ③ 定員  | 4名                |
| ④ 職員数 | 3名                |

「グループホーム ミリオールネ星田 1・2」の運営

事業所の設置場所及び規模等

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| ① 名称  | グループホーム ミリオールネ星田 1・2 |
| ② 所在地 | 交野市星田                |
| ③ 定員  | 星田 1 4名・星田 2 4名      |
| ④ 職員数 | 16名                  |

「グループホーム ミリオールネ星田北 1・2」の運営

事業所の設置場所及び規模等

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| ① 名称  | グループホーム ミリオールネ星田北 1・2 |
| ② 所在地 | 交野市星田北                |
| ③ 定員  | 星田北 1 4名・星田北 2 4名     |
| ④ 職員数 | 16名                   |

「グループホーム ミリオールネ星ヶ丘の運営

事業所の設置場所及び規模等

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| ① 名称  | グループホーム ミリオールネ星ヶ丘 |
| ② 所在地 | 枚方市星ヶ丘            |
| ③ 定員  | 5名                |
| ④ 職員数 | 16名               |

### (2) 今年度実施内容

令和 5 年度、グループホームミリオールネ全体では微増ながら収益が上昇しました。ミリオールネ星田1では、10月に女性1名、空き室ができ12月に募集を行い、1月に体験利用等の中で、2月後半に入居者が決定し満床となりました。ミリオールネ星ヶ丘では、昨年度 1 名の利用者が退居されましたが、今年度は女性の利用者が入居し、1 年間順調に利用を継続することができました。ミリオールネ藤が尾では 1 室空室状態でしたが、軽度の利用者の体験利用で活用し地域移行への足掛かりの施設として位置付けることができました。

利用者の状況として、各ホームでは医療的ケアに対する支援で各種医療機関への通院が増加したため、居宅支援事業所の通院等介助サービスの利用で対応する他、職員が同行するなどし対応しました。

また、スタッフ全体研修会も行い、利用者支援・こだわりと支援・発作と痙攣・服薬について等や、入居にあたって家族とホームスタッフとのミーティングを行い情報共有を行いました。

## 9. 障害者相談支援事業「てらサポ」

(交野市障がい者地域生活支援事業・指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業  
指定障害児相談支援事業)

### (1) 事業所の設置場所及び規模等

- ① 名称 障がい児(者)相談支援センター「てらサポ」
- ② 所在地 交野市星田六丁目 24 番 5 号
- ③ 職員数 5 名
- ④ 利用日 月曜日～金曜日(土・日・祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業)
- 利用時間 月曜日・金曜日、ゆうゆうセンター内 午前 10 時～午後 4 時  
第 1 水曜日、てらサポートセンター内 午前 10 時～午後 4 時  
第 2 水曜日、ワークハウスやわらぎ内 午前 10 時～午後 4 時  
第 3 水曜日、くらじワークセンター内 午前 10 時～午後 4 時

※各事業所相談コーナーにて窓口開設

それ以外の利用日は、グループホームミリオネ星田地下相談事業所で窓口開設。

- ⑤ 営業時間 午前 8 時 45 分から午後 5 時 15 分  
月曜日から金曜日(祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業日)

### (2) 事業実績 (件)

### (3) 今年度実施内容

事業名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談総数	608	629	664	571	532	593	575	520	518	531	471	623	6,835
地域生活(市)	94	93	133	87	134	142	116	107	129	108	114	161	1,418
計画等作成 (モニタリング含む)	38	35	35	39	34	31	39	35	27	40	34	33	420

今年度の相談総数としましては、6,835 件と前年度より 800 件ほど多くなっており、新型コロナウイルスも 2 類から 5 類へ移行し、対面での面談も全面的に行い、積極的に対外的な動きを行いました。

交野市から委託を受けている地域生活支援事業の対応も 1,418 件と前年度より 400 件ほど増え、医療観察制度のもと入院している方の地域移行支援を行う等、他県や他市から転入される方の市役所等での手続きのサポートを行いました。

また、計画相談支援も年間 420 件と前年度と同様に安定した報告書の作成を行いました。計画相談支援については、法人内外問わず、日中の支援状況や外出支援、グループホームの様子など、各事業との細かい部分の連携も行って参りました。

さらに利用者・家族の高齢化に伴い、医療についての相談や対応が増えていて、将来的な事も考え、成年後見制度を必要とするケースもあり、後見人制度についての講演会や勉強会を重ね、利用者・家族への相談に対応し、後見制度の利用に結び付けたケースもありました。

## 10. 移動支援従業者養成研修事業(介護職員人材養成事業)

### (1) 事業所の設置場所

- ① 所在地 交野市寺四丁目 590 番地の1

### (2) 事業内容

知的障がい者移動支援従業者養成研修の科目

- (1) 障がい者(児)福祉制度と移動支援事業
- (2) 移動支援従業者の業務
- (3) 移動支援従業者の職業倫理
- (4) 障がい者の人権
- (5) 障がいの理解(知的障害)
- (6) 障がい者(児)の心理(知的障害)
- (7) 移動介助の基礎知識(知的障害)
- (8) コミュニケーション実習(知的障害)
- (9) 交通機関利用の介助演習(知的障害)

### (3) 事業実績

本年新型コロナウイルス感染の影響を鑑み開講は見送りました。